



ア オ テ ア ロ ア

# AOTEAROA

— 白く長い雲のたなびく国、NZ —



ニュージーランド



## 南太平洋に浮かぶ『地球の箱庭』

緑の牧場に羊の群れ…ニュージーランドをイメージするとき、多くの人がこんな情景を思い浮かべるのではないのでしょうか。しかし、これはもともとこの国にあった姿ではありません。ヨーロッパからの入植とともに、国土の約70%を覆っていた原生林は、わずか160年足らずでその面積を23%まで減らしてしまいました。

しかし、20世紀初頭にはバランスを失った自然を元に戻す気運が高まり、貴重な鳥や植物など、あらゆる生態系を守ることを目的に様々な活動が展開され、この国の「原生 (Native) のもの」に目を向けるようになりました。現在、国土の約3分の1にあたる面積が国立公園や自然保護区に指定され、その保護活動がますます活発化しているのも、かつて自然を破壊した歴史を積み重ねてきたからこそと言えるでしょう。NZでのハイキングやトレッキングの舞台は山岳地帯の稜線を歩くのみならず、原生林、氷河、海辺、湖、島など多様です。人々が自然に触れ合える環境が整えられ、トレイ

ルや山小屋が設置される反面、エリアによっては集中して人が増えないよう管理されている場所もあります。「人々が自然を楽しみながら自然を守り、あるがままの姿で次世代へ渡す。」これがニュージーランドの観光と環境保護に対するポリシーです。

地球的規模で自然破壊が加速した20世紀に「何もない」と言われた南太平洋の小さな国には、世界各国が羨む大自然という財産が隠されていました。ニュージーランドは21世紀、「環境の時代」をリードする国となるでしょう。

今年42年目を迎えるアルパインツアーの「NZの山旅」では、野生動物や植物などあらゆる生態系と人間が共存できる道を模索し続けるニュージーランドの自然本来の姿を、山に登り、海辺を歩き、原生林に溶け込んで、みなさまご自身の肌で感じ、触れていただければと願っております。

お出かけください、「アオテアロア」の国へ。

## DOC(自然保護省)とNZの国立公園、世界遺産

ニュージーランドの自然・環境保護の中心的な役割を担う政府機関、DOCとはDepartment of Conservationの略称で、日本語では「自然保護省」と訳すことができます。DOCは、ニュージーランドに点在する14の国立公園、20の森林公園、3500もの自然保護区を管理しているほか、原生植物の数を増やしたり、飛べない鳥キウイに代表される絶滅が危惧されているニュージーランド固有の鳥の保護活動にも取り組んでいます。